

SUZUKI CARRY (3BD-DA16T) オーバルサイクロン 取扱説明書

- 作業に入る前に必ず取扱説明書を熟読して下さい。
- 作業中は本書を手元に置き、指示に従って作業を進めて下さい。
- 本書は製品を廃棄するまで確実に保管して下さい。

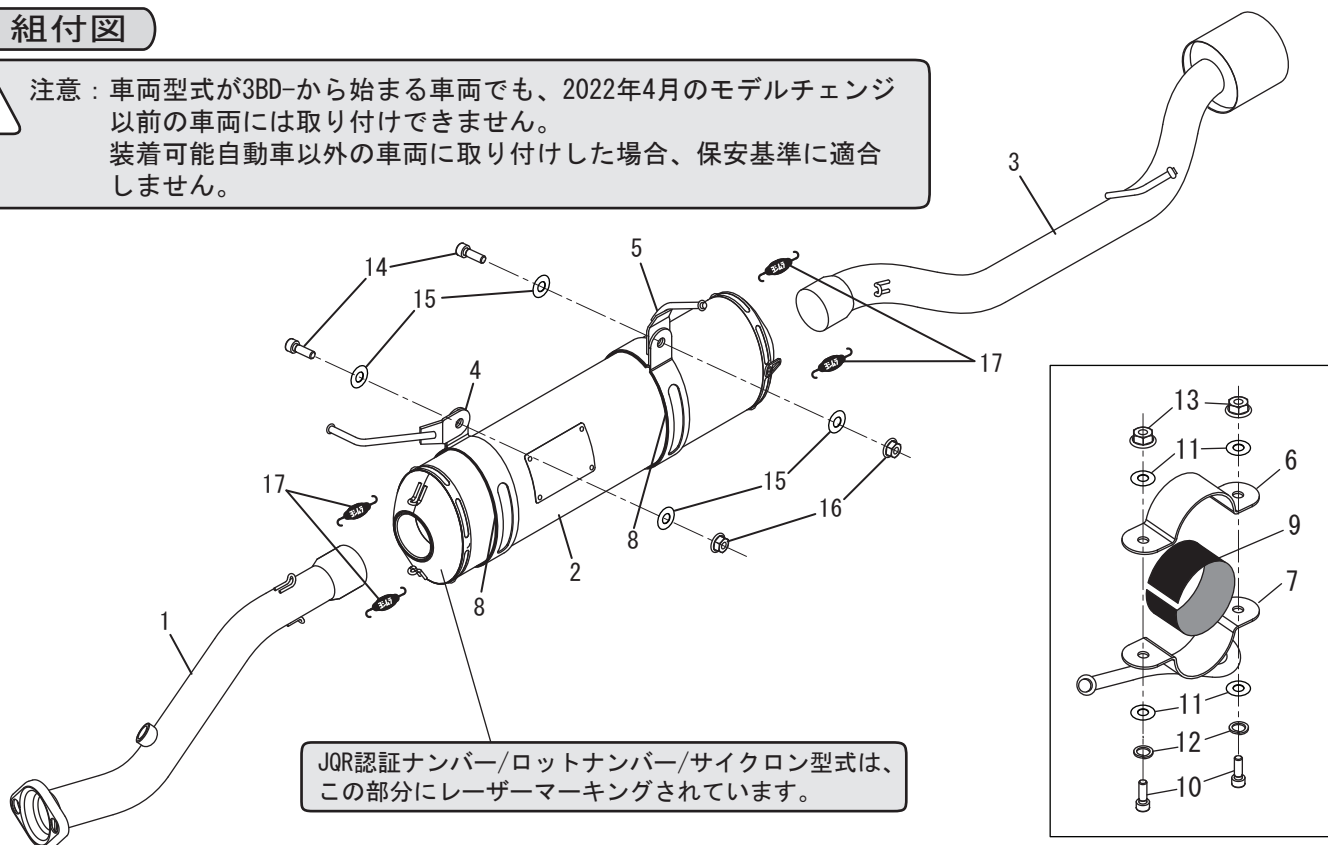
- ▲危険** 怠ると怪我につながる注意事項を示してあります。
- ▲注意** 怠ると部品の損傷等につながる注意事項を示してあります。
- ▲参考** スムーズに作業を進める上でのポイントや参考となる事項を示してあります。

1. 適応車種及び諸元表

車名	スズキ CARRY	スズキ SUPER CARRY	マツダ SCRUM TRUCK	ニッサン NT100 CLIPPER CLIPPER TRUCK	ミツビシ MINICABトラック
車両型式	3BD-DA16T		3BD-DG16T	3BD-DR16T	3BD-DS16T
エンジン型式	R06A				
トランスミッション	5MT / 4AT				
駆動方式	2WD / パートタイム4WD / 高低速2段切替え式パートタイム4WD				
性能等確認済表示	JQR10233118 R06A				
サイクロン型式	S647SOV11				
品番	ステンレスサイレンサー	1E0-647-5M50			
	チタンブルーサイレンサー	1E0-647-5M80B			

2. 組付図

! 注意：車両型式が3BD-から始まる車両でも、2022年4月のモデルチェンジ以前の車両には取り付けできません。
装着可能自動車以外の車両に取り付けした場合、保安基準に適合しません。



JQR認証ナンバー/ロットナンバー/サイクロン型式は、この部分にレーザーマーキングされています。

NO.	品名	数	品番	NO.	品名	数	品番
1	テールパイプF	1	1E5-647-5M00	10	キャップボルトM6×15	2	800-206-4015
2	サイレンサー (ステンレスカバー)	1	1E6-647-5M50	11	SUSワッシャM6	4	812-206-1310
	サイレンサー (チタンブルーカバー)		1E6-647-5M80B	12	スプリングワッシャM6	2	814-106-1216
3	テールパイプR (ステンレスエンドピース)	1	1E5-643-5M51	13	フランジナットM6	2	823-006-1000
	テールパイプR (チタンブルーエンドピース)		1E5-643-5M81B	14	キャップボルトM8×20	2	800-208-5020
4	サイレンサーバンドF	1	162-64RCA500	15	平ワッシャM8×26	4	812-108-2600
5	サイレンサーバンドR	1	162-64RCA530	16	フランジナットM8	2	823-008-1250
6	クランプバンド#1	1	162-021-4646	17	マフラスプリング (フローティング)	4	118-001-0000
7	クランプバンド#2	1	162-010-4646	※	スプリング取付工具	1	100-000-0000
8	サイレンサーバンド用スペーサーラバー	2	896-009-0439	※	耐熱シートA7	1	896-001-007A
9	クランプバンド用スペーサーラバー	1	896-018-1025				

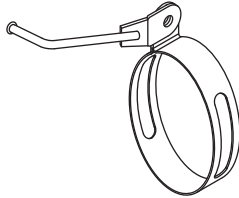
3. 取付方法

△注意 ※作業時は部品を損傷しないよう注意して作業を行なって下さい。
 ※ボルト、ナット締め付けの際は必ず規定トルクを守って下さい。
 ボルト、ナットの脱落・製品の破損の原因になります。

1. SET 内容を確認して下さい。
2. メーカー発行のサービスマニュアルを参照し、純正サイレンサーを車両から取り外して下さい。
 この時取り外したボルト類は、ヨシムラマフラーの取り付けに使用しますので紛失しないようにして下さい。
3. ④サイレンサーバンドFに⑧サイレンサーバンド用スペーサーラバーを取り付けてから②サイレンサーに通し、カバーの前端から20mmの位置で⑭キャップボルトM8×20、⑮平ワッシャM8×26、⑯フランジナットM8を使用して仮締めして下さい。(FIG. 1参照)

△注意

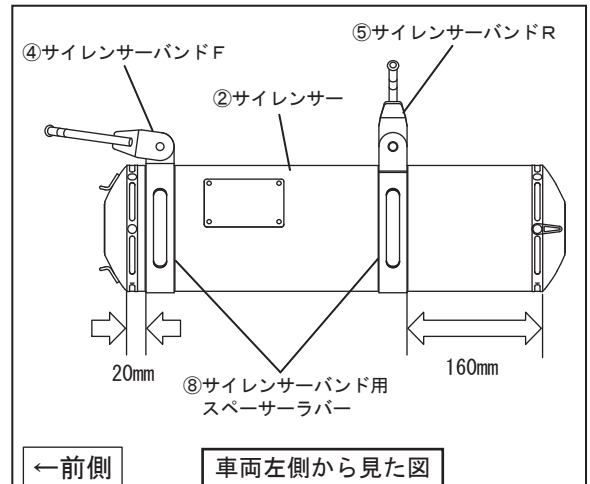
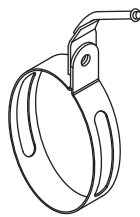
- ・二本あるサイレンサーバンドのうち、ハンガーが横に伸びている方が④サイレンサーバンドFとなります。
- ・バンドの向きにご注意下さい。
 バンドのハンガーが車両前側に突き出ていれば正しく取り付けられています。



4. ⑤サイレンサーバンドRに⑧サイレンサーバンド用スペーサーラバーを取り付けてから②サイレンサーに通し、カバーの後端から160mmの位置で⑭キャップボルトM8×20、⑮平ワッシャM8×26、⑯フランジナットM8を使用して仮締めして下さい。(FIG. 1参照)

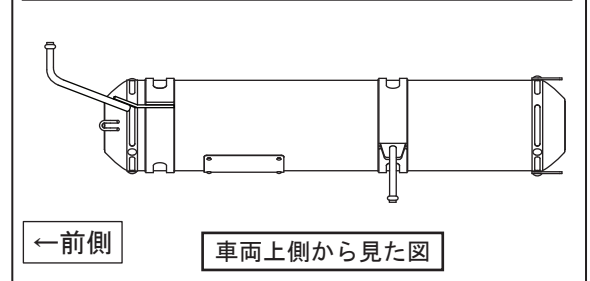
△注意

- ・二本あるサイレンサーバンドのうち、ハンガーが縦に伸びている方が⑤サイレンサーバンドRとなります。
- ・バンドの向きにご注意下さい。
 バンドのハンガーが車両左側に突き出ていれば正しく取り付けられています。



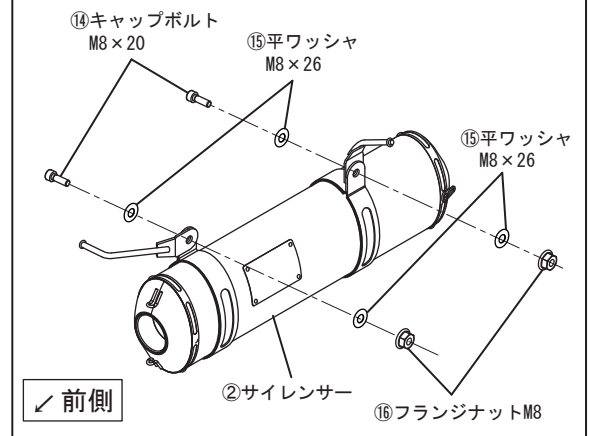
←前側

車両左側から見た図



←前側

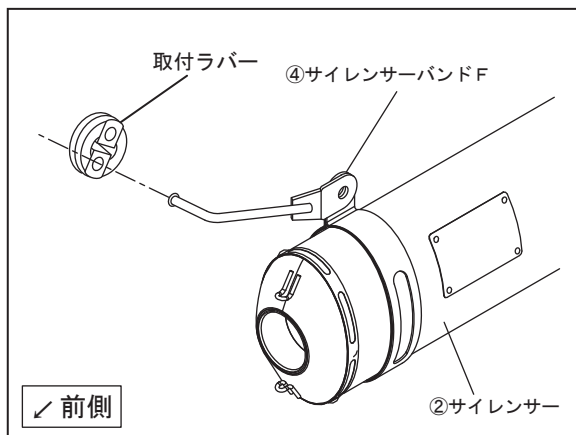
車両上側から見た図



✓前側

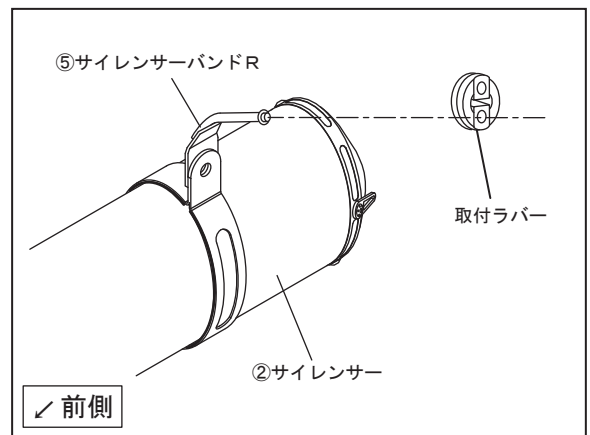
FIG. 1

5. サイレンサーバンドF/Rのハンガーをそれぞれ純正サイレンサーを取り付けていた車体側のラバーに通して車両に取り付けて下さい。(FIG. 2, 3参照)



✓前側

FIG. 2



✓前側

FIG. 3

6. ①テールパイプFを②サイレンサーに取り付け、⑰マフラスプリングをスプリング取付工具を使用して取り付けて下さい。

⚠危険 スプリングを取り付ける際は、スプリングが工具から外れない様に十分注意して下さい。(怪我をする恐れがあります)

7. 純正フロントパイプのフランジに純正ガスケットが取り付けられている事を確認し、①テールパイプのフランジを純正フロントパイプのフランジに取り付けて、純正ボルト、純正スプリングを使用して仮締めして下さい。

⚠注意 純正ガスケットが破損している場合、排気漏れの原因になりますので、新しい物に交換して下さい。

8. 車両の一番後方のハンガーから純正サイレンサーを取り付けていたラバーを取り外して下さい。(FIG. 4参照)

9. ⑥クランプバンド#1と⑦クランプバンド#2を、FIG. 5, 6の図説を参考に、⑨クランプバンド用スペーサーラバー、⑩キャップボルトM6×15、⑪SUSワッシャM6、⑫スプリングワッシャM6、⑬フランジナットM6を使用して車両に取り付け、仮締めして下さい。(FIG. 5, 6参照)

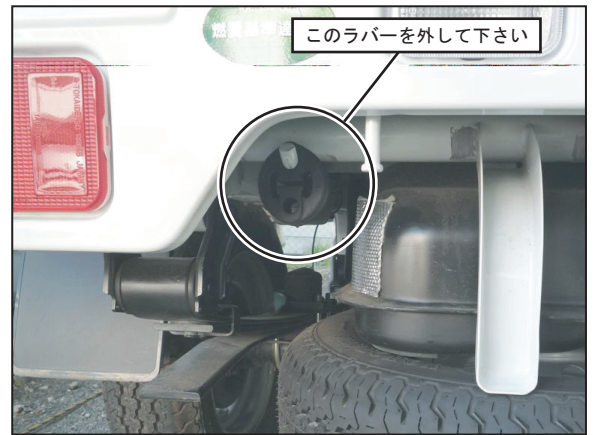


FIG. 4

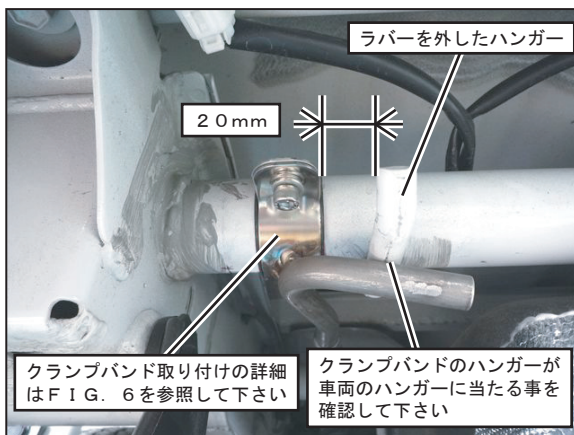


FIG. 5

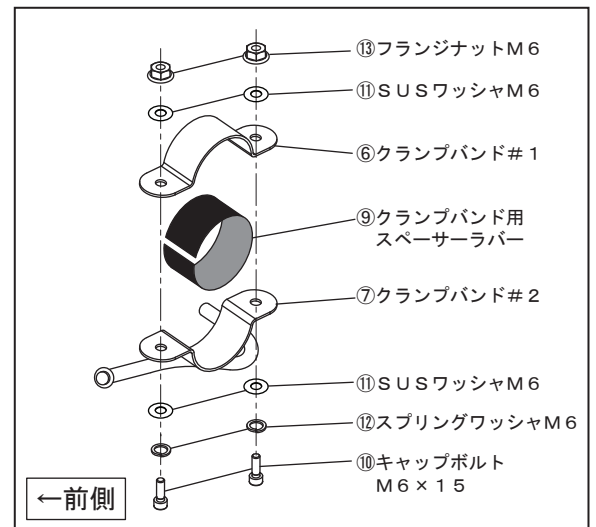


FIG. 6

10. ②サイレンサーに③テールパイプRを取り付け、⑰マフラスプリングをスプリング取付工具を使用して取り付けて下さい。

⚠危険 スプリングを取り付ける際は、スプリングが工具から外れない様に十分注意して下さい。(怪我をする恐れがあります)

11. ⑦クランプバンド#2のハンガーに、手順8で外したラバーを取り付けて下さい。次に、③テールパイプRのハンガーをラバーに通して下さい。(FIG. 7参照)

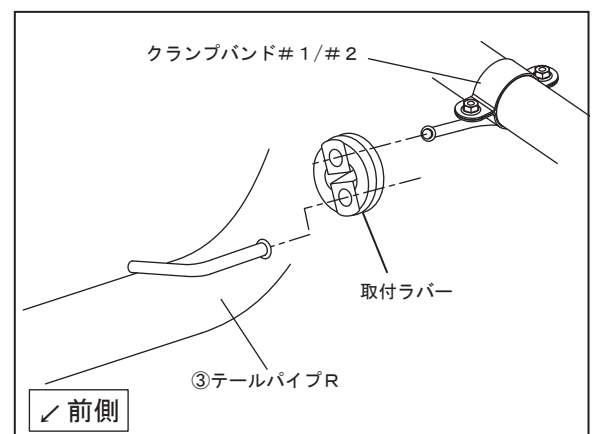


FIG. 7

- 1 2. FIG. 8の写真を参考に、③テールパイプRとガソリ
ンタンクのクリアランスの狭い部分のガソリタンク側
に耐熱シートA7を貼り付けて下さい。
(FIG. 8参照)

参考 耐熱シートを貼る前に、ガソリタンクの表面の汚れを拭き
取って下さい。

- 1 3. マフラーと車両各部とのクリアランスが適正な状態であ
る事を確認し、テールパイプF→サイレンサーバンドF
/R→クランプバンド#1/#2の順に、規定トルクで
締め付けて下さい。

注意 規定トルク フランジ(テールパイプF) : 50Nm
サイレンサーバンドF/R : 23Nm
クランプバンド#1/#2 : 10Nm

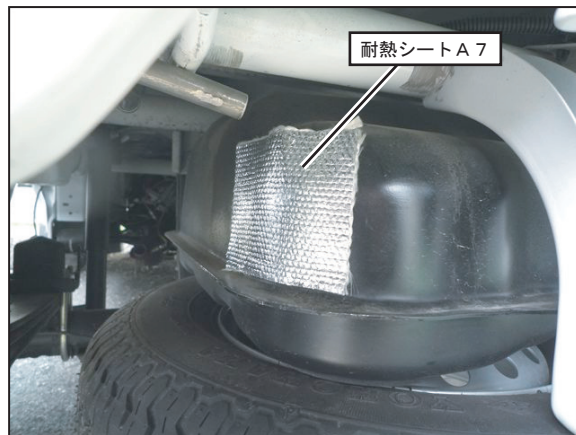


FIG. 8

4. 装着状態の確認

- 1 4. 各部の本締めが終了したら、確認の為にマフラー全体を
揺さぶって各部のクリアランスを点検して下さい。又、
テールパイプRと車両のリアパネルとのクリアランスを
確認して下さい。
不具合があった場合は締め付けたボルト・ナットを一度
緩め、手順に従って再度締め直して下さい。
(FIG. 9参照)

- 1 5. 中性洗剤、ウエス等でマフラー全体を良く脱脂して下さ
い。指紋などが付着したままエンジンを始動すると、色
ムラとなって残ってしまふことがあります。

注意 チタンブルーカバーのサイレンサーは、金属研磨剤やワックス
等を使用すると、色落ちする恐れがあります。
洗浄の際は、必ず中性洗剤をご使用下さい

- 1 6. 暖気運転を行なって排気漏れが無いことを確認し、エン
ジンが完全に冷えてから各ボルトの増し締めを行なって下
さい。

- 1 7. 試運転を行い、再度マフラーや車両各部に排気漏れや異
音が無い確認して下さい。

- 1 8. 走行中アフターファイアーが激しく鳴る場合は、テール
パイプF/R、サイレンサーの差し込み部に、市販のマ
フラー用液体ガスケット等を塗りシーリングを行って下
さい。作業はエンジンが完全に冷えてから行って下さい。

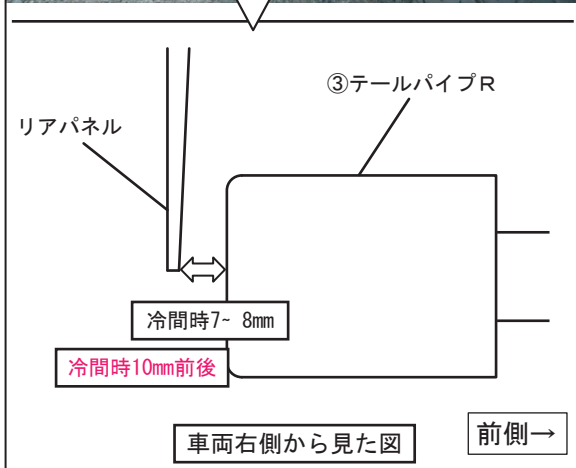


FIG. 9

5. 装着後の確認

- 1 9. 走行後、各部に緩みが無い点検し、増し締めを行って下さい。

⚠重要

※マフラーが車体と干渉したままエンジン始動や走行を行うと、火災や転倒などの事故の原因になりますので、マフラーが干渉していないことを充分確認して下さい。また、どうしても干渉が避けられない場合や、走行中に干渉しているような場合は、直ちに使用を中止し、(株)ヨシムラジャパンのマフラーホットラインまでご連絡下さい。

⚠危険

※エンジンを始動する際は、換気の良い所で行うこと。排気ガスにより、一酸化炭素中毒になる恐れがあります。
※エンジン始動時は排気口に手を出したりしないこと。排気ガス中に含まれるグラスウール等が目や手などに刺さる恐れがあります。
※エンジン停止時に空吹きをして止めた場合、マフラー内部に未燃焼ガスが溜まり、着火してテールエンドより炎を発する場合があります。テールエンドの先には引火しやすい物が無いことを確認してからエンジンを停止して下さい。発火した炎により引火し、爆発や火災が発生する恐れがあります。

⚠注意

※取付け、取扱いの不注意による返品は、固くお断り致します。
※製品に加工、改造などは絶対行わないで下さい。それらの場合の修理苦情等一切の責任を負いかねます。
※他メーカー製品との適合は行っておりませんので、本製品取付け、使用時に不具合が発生する恐れがありますが、それらの場合の修理苦情等一切の責任を負いかねます。

●ヨシムラマフラーのメンテナンス

※マフラーが砂や泥で汚れてしまった場合は、マフラーが冷えてから水洗い等で汚れを落として下さい。定期的にし締めを行い、マフラー各部の点検（変形、キズ、車体との干渉等）を行って下さい。

※サイレンサー内部の消音材は消耗品です。消音材が消耗すると音量増加のみでなく、出力の低下にもなります。消音材が消耗した場合は、リメイクサービスをご利用いただくことにより、長く安心してご使用いただけます。リメイク内容についてはお問い合わせ下さい。また、事故などによる損傷の場合には、(株)ヨシムラジャパンに連絡の上、修理または損傷部品の交換等を行って下さい。

※ステンレスマフラーについて。
ステンレスは他の金属に比べて非常に耐食性に優れていますが、使用条件、環境等（潮風、酸性雨、工業地帯の各種ガス、ほこり、すす、融雪剤等）により「錆、汚れ」等が発生します。

ステンレスの金属面を維持するには定期的なメンテナンスが必要になります。

●2年保証について

※ヨシムラサイクロンは2年間の品質保証がされています。製品については品質管理を行っておりますが、万が一不良・不都合がありましたら保証書に従い無償修理を致しますので、(株)ヨシムラジャパンまたは、お買い上げ店までお知らせ下さい。詳しくは保証書をお読み下さい。

(株)ヨシムラジャパン 〒243-0303 神奈川県愛甲郡愛川町中津6748

マフラーリメイクのご案内

・マフラーリメイクのご案内 ▶



マフラーに関する技術的なご質問、ご相談
・マフラーの修理や商品に関するご質問、ご注文

お問い合わせいただく際は、「商品名」「商品番号」「車種」「車両年式」「車両型式」をご確認の上、ご連絡下さい。

お問い合わせのご案内

